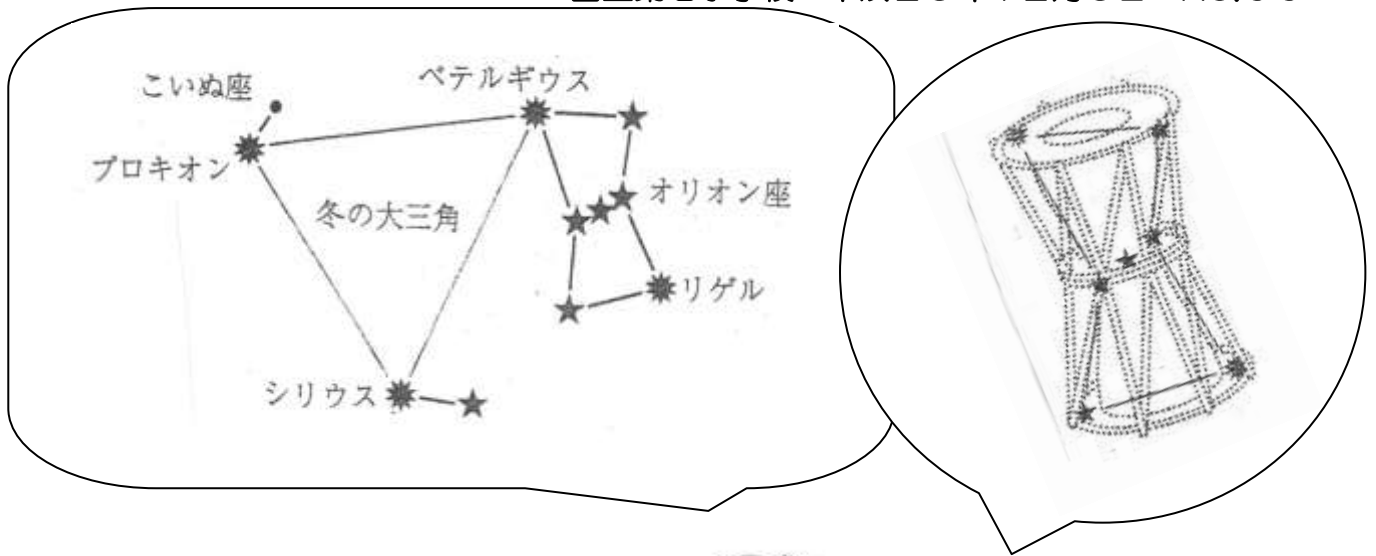
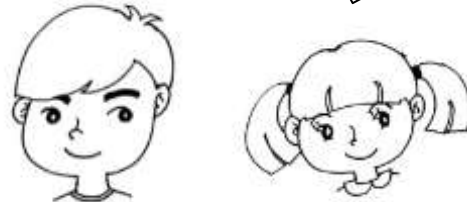


花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドキドキ国立てくてく

国立第七小学校 平成25年12月5日 NO.66



グーグーグー!?



オー君 「おいら、星についてたくさん研究（けんきゅう）しちゃったよ！花ちゃん。」

花ちゃん 「うわー、カッコいい。オー君。まるで、モンタ博士みたいね。」

オー君 「えっへん。まず、夜空にはどのくらいの星座（せいざ）があるか知ってる？」

花ちゃん 「え！さっぱり分（わ）からないわ。オー君！知（し）ってるの。」

オー君 「もちろんさ。星座というのは、もともと大昔（おおむかし）の人たちが、空に散（ち）りばめられた星たちを線（せん）で結（むす）んで、いろいろな形にして物語（ものがたり）にしたのさ。全天で88個の星座があるんだよ。」

花ちゃん 「その88個の星座の中でも、有名（ゆうめい）なのがオリオン座なのね。」

オー君 「そうだよ。左上に赤い1等星ベテルギウス、真ん中に三ツ星、右下には青白い1等星リゲルがあるんだよ。」

花ちゃん 「そうね、そう言えば、星の色がちょっとちがうわね。」

オー君 「色のちがう二つの星を見て、昔の人は源平星（げんぺいぼし）と言ったのさ。」

花ちゃん 「源平（げんぺい）って、源氏（げんじ）と平家（へいけ）でしょ。今から800年くらい前の平安（へいあん）時代には、源氏と平家の武士（ぶし）

たちのグループが二つあったんでしょ。」

オー君 「ふーん。花ちゃんは歴史（れきし）にくわしいね。それからね、日本では、オリオン座を、『つづみ星』とも言ったんだよ。」

花ちゃん 「つづみって、楽器（がっき）の『つづみ』ですね。本当によくにているわ。」

オー君 「それから、中国（ちゅうごく）では、横（よこ）に三つ並（なら）ぶ三つ星を三宿（さんしゆく）とよぶんだって。北斗七星（ほくとしちせい）とならんで、いろいろな物に書かれているそうだよ。」

花ちゃん 「いろいろ知ってるんだな。オー君は…。感心（かんしん）しちゃうわ。」

オー君 「まだまだあるんだ。三ツ星の下に、横じゃなくてたてに並んでいる星があるんだ。これを小三ツ星とか呼（よ）ぶんだ。小三ツ星の真ん中には、オリオン座大星雲（せいうん）というのもあるし、M78星雲があるんだよ。」

花ちゃん 「え！M78星雲って、ひょっとして、あのウルトラマンの星？」

オー君 「そうだよ。その通りだよ。それから、モンタ博士の『モンタ星』というのも、M78星雲にあるそうなんだけどな・・・。」

モンタ博士 「うっ！今、ぼくをよんだ？え！ぼくのモンタ星がどうしたの。グーグー。」

オー君 「あ！モンタ博士はまた昼ねをしているね。まあいいか。それからね、冬の空には、このオリオン座を中心に、いろいろな星座があるんだよ。」

花ちゃん 「どんな星座があるの。」

オー君 「おうし座、ぎょしゃ座、ふたご座、こいぬ座、おおいぬ座などがあるのさ。」

花ちゃん 「冬の空は、たくさんの星座も見られるということね。」

オー君 「そして、それぞれにとっても明るい一等星があるのさ。おうし座のアルデバラン、ぎょしゃ座のカペラ、ふたご座のポルックス、こいぬ座のプロキオン、おおいぬ座のシリウスなどなどね。有名なスバルという星もあるんだよ。」

オリオン座の一等星の星々・大星雲について

ベテルギウス…オリオン座の右肩の位置に見える一等星でアラビア語で「肩」を意味している。肉眼でもオレンジ色に見えるほど赤い星で、表面温度は3900度、直径は太陽の600倍、地球からの距離はおよそ500光年という星である。約2300日おきに0.4等から1.3等へと明るさを変える変光星で老年期の星である。

リゲル…オリオンの左足の位置に見える一等星で「脚」という意味の名前がつけられている。表面温度は12300度、直径は太陽の19倍で地球からおおよそ700光年の距離にある星である。

オリオン座大星雲…オリオン座の「三ツ星」の下には、写真で撮影するとピンク色に写るオリオン座大星雲がある。双眼鏡などでもうっすらと見え事が出きるガス星雲である。地球からの距離は、1500光年、中央にある高温度の星の紫外線を受けて赤く光を放っている天体である。